

# ACE

Act and Communicate in English

特集

## 中長期的な見通しを 持ちながら 授業を展開しよう

### Tips for Activities!

ポスターを使って発表する活動を  
効率よく、効果的に

#### COLUMN

小学校外国語の評価は難しい? ①



# 中長期的な見通しを持ちながら授業を展開しよう

ことばの学びにおいては、習ったことが身につくのに一定の時間と繰り返しが必要です。したがって、小さな単元 (Lesson) のねらいと実際の活動を有機的に結び付けていくなどの工夫が求められます。そのような中長期的な見通しを持った指導のありかたについて、酒井英樹先生に解説していただきます。

研究授業の指導をさせていただく際、次のように尋ねることが頻繁にあります。

- 学年ごとの目標を設定していますか。
- 本単元はどの領域\* に関わりますか。
- その領域について、この学年では、3つの柱\*\* のどのような力を育成したいと考えていますか。
- 本単元の目標は何ですか。
- 単元を通して、3つの柱をどのように指導していきますか。
- 評価しようとしている姿は、単元の中で、いつ何を指導するのですか。

これらの質問は、全て今回の特集テーマ「中長期的な見通しを持ちながら授業を展開しよう」に関係します。中長期的な見通しを持つことがなぜ大切なのか、またどのように授業に活かしていくのかについて説明します。

\* 領域＝「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」  
\*\* 3つの柱＝「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」

## 1. 長期的な見通し：「学年ごとの目標」(CAN-DO)を核にして指導と評価を行おう

小学校学習指導要領の外国語では、教科の目標と領域別の目標は示されていますが、学年ごとの目標は示されていません。小学校学習指導要領には、「学年ごとの目標を適切に定め、2学年間を通じて外国語科の目標の実現を図るようにすること」と書かれており、各学校が設定するように求められています。評価は、学年ごとの目標に照らして観点別の学習状況を評価し、それを総括して評定をつけることになっています。したがって、学年ごとの目標が明確でないと、指導と評価を効果的に行うことが難しくなります。

「話すこと [やり取り]」の学年ごとの目標を次のように設定したとします (CROWN Jr. Teacher's Manual から)。

**【5 学年】** 日常生活、人物やもの、自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。

**【6 学年】** 身のまわりのこと、経験したこと、過去の様子、将来の夢について、自分の考えや気持ちなどを、伝え合ったり、質問したり答えたりすることができる。

目標を設定したら、次のステップは、学年ごとの目標に関して、児童の具体的な姿を想定することです。その際、3つの柱の点から具体的な姿を検討するとよいでしょう。次に示しているのは、5 学年末の児童の姿の例です。「知識及び技能」については、各単元で扱う話題や、言語活動に関する語句や表現

を用いてやり取りしている姿を想定します。「思考力、判断力、表現力等」においては、質問に適切に答えているか、コメントを付け加えているか、感想を述べているか、関連する質問をしているか、情報を加えているかなど、話すことの継続に関する工夫の点から考えるとよいでしょう。これらの工夫は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、相手の意図を理解し何を伝えるのかを考えている姿、どれを伝えるかを決定している姿、伝え方を工夫している姿として捉えることができます。

### 【5 学年末の児童の姿の例】

#### 1. 知識及び技能

誕生日、持ち物、好きなこと、できること、身のまわりの人のこと、一日や一週間の生活、行きたいところなどに関する語句や表現を用いてやり取りしている。

#### 2. 思考力、判断力、表現力等

目的や場面、状況に応じて、相手の質問に適切に答えたり、コメント (例、Me, too.) や感想 (例、Nice./ Good./ Really?) を述べたりしてやり取りしている。  
(※相手の言った内容に関連して質問するのは6年生の指導事項とする)

#### 3. 学びに向かう力、人間性等

「話すこと [やり取り]」の言語活動に主体的に取り組んでいたり、自らの学びを自覚的に捉えていたりする。

次に、この姿を目指して、どの単元で指導するのか、いつ、どのように評価するのがよいのかを検討します。例えば、CROWN Jr. では、各レッスンの終盤に Talk to Friends という活動があるので、そこで「話すこと [やり取り]」について指導することを計画できます。レッスンの中ですでに「知識及び技能」の側面、すなわち語句や表現については指導されているので、Talk to Friends では学んだ語句や表現を総動員してやり取りをすることに焦点が置かれます。また、上記の5 学年末の児童の姿を意識して、「友だちとともっと仲良くなる」というような目的を設定し、仲良くなるためには、相手の質問に適切に答えたり、コメントや感想を述べたりした方が適切であることを指導することになります (「思考力、判断力、表現力等」)。また、仲良くなるという目的意識を持って言語活動に取り組ませるようにします (「学びに向かう力、人間性等」)。

このように指導した上で行う評価では、どのような児童の姿を評価すればよいかが明確になります。その上で、上記の5 学年末の児童の姿を基にした評価基準を設定して、評価することになります。

## 2. 中期的な見通し：「言語活動」を通して「3つの柱」を意識して大きな単元の中でスパイラルに指導をしていこう

中期的な見通しに関しては、単元のまとまりを意識することが重要です。そして、単元を通して、3つの柱をどのように指導するかを計画します。

### (1) 「思考力、判断力、表現力等」の指導

「思考力、判断力、表現力等」については、複数の Lesson をまとめて単元として捉え、時間をかけて指導することが重要です。例えば、聞くことに関して、「短い話を聞いてイラストなどを手掛かりにして概要を捉えることができる」ようにするには、概要を捉える言語活動を繰り返し経験させることが必要です。その際には、学期などのまとまりを意識して中期的な見通しを持って指導するとよいでしょう。

CROWN Jr. では、大単元 (Unit) を設定しています。HOP → STEP → JUMP という流れの大単元 (Unit) は、各学年に3つ設定されています。児童がこの大単元構成 (Unit) を通して、少しずつ語彙や表現を学び、使う経験を重ねながら、「思考力、判断力、表現力等」を働かせて英語を用いる力を身に付けていくことを大切にしています。

### (2) 「知識及び技能」の指導

単元の中で、「知識及び技能」の側面をどのように指導するかを計画することが重要です。「慣れ親しむ」段階の外国語活動では、モデルや練習などを行った上で、使えていればよいですが、「身に付ける」段階の外国語では、語句や表現を覚えて自分だけの力で用いることができなくてははいけません。よく単元計画の中で、終盤のメインとなる言語活動を行う際にも、どのような語句や表現を用いればよいのかということを示すモデルを見せたり、チャンツなどで表現を練習させたりする指導を見かけますが、技能を身に付けさせるためには、単元が進むにつれて、教師の支援はできるかぎり外していくことが求められます (児童によっては個人的に適宜指導するようにします)。CROWN Jr. では、Lesson の最初の方で、Sound Chant や Word Chant を扱いますが、徐々に自分の伝えたいことを自分の力で表現することを求めていくとよいでしょう。

表現についても、まるごと覚えて使えばよいとはいえ、児童が音声、意味、文構造などに気づきやすくするように、スモールステップを踏むという配慮も有効です。

### 文構造の気づきを促すスモールステップの例 (CROWN Jr. 5)

Unit 1 Lesson 2	・ I/You can . . . ・ Can you . . . ?	・ 自分や相手ができること ・ 動詞句
Unit 2 Lesson 3	・ He/She is . . . ・ He/She can . . .	・ 自分や相手以外の人のこと ・ 自分や相手以外の人が できること

身近な人やヒーローを紹介する

単元を通して、十分に音声を聞かせた上で発話させるようにすることもポイントです。

### 児童の発話のスモールステップの例 (CROWN Jr. 5 Lesson 2)

	児童へのインプット	児童に求める発話
Part 1	全 Part を通して、	Yes / No で質問に答える。
Part 2	Can you . . . ? / I can . . . . . の表現に何回も音声で触れさせる。	I can . . . . / I can't . . . . . と自分のことを言う。
Part 3		Can you . . . ? と質問する。

### (3) 「学びに向かう力、人間性等」の指導

「学びに向かう力、人間性等」を育成するには、児童が目的意識を持ち、向上心を持って言語活動に取り組めるよう、児童自身が目標や見通しを持つことが重要です。また、単元の途中において、言語活動がうまくいったのかどうかを自覚的に捉え、うまくいったことは次に活かそうとし、うまくいかなかったことは次回頑張ろうと思うことが大切です。さらに、単元の最後には、自らの学びを「知識及び技能」の言語面、「思考力、判断力、表現力等」の内容面から振り返り、達成感を持ったり、次の単元への願いを持ったりするようにさせます。

CROWN Jr. では、大単元 (Unit) の始まりである HOP で STEP や JUMP へと続く学びを見通し、大単元 (Unit) を通してどのようなことができるようになりたいかという目標 (My Goal) を設定します。STEP の各 Lesson においては、課題意識を持ったり、次の JUMP に向けて目的意識を持ったりすることを促すような「ふりかえりシート」(下図)を提供しています。JUMP の最後には、大単元 (Unit) の総まとめとして、HOP で立てた目標 (My Goal) を達成できたかを振り返り、次の大単元 (Unit) に向けて意欲を持たせるようにしています。

### CROWN Jr. ふりかえりシート (5年 Lesson 3, 第1時と第6時の例)

第1時 ( )月( )日	Very good	Good	So so
Sound Chant をリズムに合わせて言うことができた。			
パノラマの人物あてクイズに答えることができた。			
Story を、絵を見ながら聞いてあらすじを理解することができた。			
どんなことをくふうしたり意識したりしたから 😊😊😊 だったと思いますか。			
第6時 ( )月( )日	Very good	Good	So so
Word Chant をカラオケで言うことができた。			
Talk to Friends で、身近な人を紹介することができた。			
Write & Speak で、自分のヒーローを友だちや先生に紹介することができた。			
JUMP でがんばりたいことはなんですか。どうしてですか。			

本稿では、中長期的な見通しを持つことで、指導と評価を効果的に行えることを説明してきました。学年ごとの目標 (CAN-DO) を核にして指導や評価を行いましょう。また、言語活動を通して単元の中で3つの柱を意識して指導していきましょう。



### 酒井英樹 (さかい・ひでき)

信州大学学術研究院教育学系教授。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会外国語ワーキンググループ及び言語能力の向上のための特別チーム委員を務めた。小学校英語教育学会理事、日本児童英語教育学会理事。

# 中長期的な見通しを持ちながら授業を展開しよう【実践編】

中長期的な見通しを持たせる授業では、子どもたちに、最終的なゴールへの意識やモチベーションをキープさせていく工夫が必要です。そうした工夫を含め、具体的な取り組みや子どもたちの様子について、長野県須坂市の小林哲也先生に *CROWN Jr. 5* の Unit 3 の実践を例に紹介していただきます。

## はじめに

*CROWN Jr.* の大きな特徴でもある「HOP で立てたゴールを達成するために、各 Lesson で必要な表現を繰り返し学習し、JUMP で発表活動を行う」という学習の流れは教師にとっても子どもたちにとっても見通しを持ちやすく、*CROWN Jr.* の良さの一つだと感じています。しかし、私自身が実践を行っていく中では、HOP の時点で立てた最終的なゴールを常に意識しながら各 Lesson を学習していくことは容易ではなく、児童のモチベーションや意識が途切れ途切れになってしまいがちでした。そこで、Unit ゴールだけでなく、各 Lesson にもスモールゴールを設定し、子どもたちの意識を保ちつつ JUMP に向けて学習が行えるように、中長期的な見通しを持ちながら授業を行いました。本稿では、その具体を紹介させていただきます。

## 実践：「Welcome to Japan! 日本のこと、伝えたい！」

*CROWN Jr. 5* の Unit 3 (3学期) の趣旨は「おすすめの場所・こと・ものと、その理由を伝える」ことであり、行きたい場所やおすすめの場所やものなどについて友達と伝え合う言語活動が設定されています。

### 1. ゴールの設定

本単元の目標は、「有名な場所や行きたい場所について、その場所がどこにあるか、そこで何ができるか、そこで何がしたいかなどを伝えたり、伝え合ったりすることができる。」となっています。2020 年度に行った実践では、「4 年生に向けて、おすすめの場所とその理由を伝えよう。」というゴール設定をしました。グループごとにおすすめの県を選び、その中で食べ物、建物など各々がテーマを決めて、実際に 4 年生を目の前にして発表活動を行いました。自分の身の回りの人を発表対象にすることで、目的意識を持ちやすくなり、自分たちより外国語の知識がない人へという相手意識を大切にしたい発表を考えることができました。その一方で、発表をグループごとにしたことにより、自分の考えや思いを制限しなくてはならないことがあり、それぞれが持つ思いを尊重することができないことがありました。そこで、2021 年度の実践では一昨年の良さを生かしつつ、それぞれの考えを大切にできるように個々での活動にしました。また、コロナ感染者が急増していて直接発表活動を行うことが困難だったことや、子どもの伝えたい相手が多岐にわたっていたこともあり、発表での様子を動画で撮影して、録画で伝えるというゴールを設定しました。

### 各学習のゴール設定と評価項目

Unit 3	おすすめの場所とその理由を伝えよう。「話すこと[発表]」
Lesson 6	「どこにあるでしょうクイズ」を作って出し合おう。「話すこと[やり取り]」
Lesson 7	自分が行きたい場所(国、県)をクラスの友達に紹介しよう。「書くこと」

### 2. 各レッスンの様子

他県に比べて 3 学期が短い長野県では、冬休み前に Unit 3 に入らなければならない、長期休業が間に入ることを考えると HOP で立てたゴールを意識し続けることが困難だと考えました。そこで、Unit ゴールを設定しつつ、各レッスンにもスモールゴールを設定し、それぞれのつながりを持たせながら、JUMP への意識や意欲を保ちやすくする工夫を考えました。

Unit 3 のゴール設定を受けて、Lesson 6 では、「おすすめの場所やものがどこにあるのかの伝え方を知ろう。」という学習内容を確認しました。その上で、6 年生になって新 1 年生が入ってきた時に学校のことを紹介できるように、「自分たちの学校に関する場所やものを写真に撮り、『どこにあるでしょうクイズ』を出し合おう。」というゴール設定をしました。授業内では、クイズを出し合うために必要な表現を学習しつつ、それぞれが最終活動のクイズ大会に向けて学校内の写真を集めるという流れにしました。

Lesson 7 では、「自分の行きたい場所やそこでしたいことの伝え方を知ろう。」という学習内容を確認しました。その上で、「イラストとともにワークシートにまとめてクラスの人に紹介しよう。」というゴール設定をしました。JUMP に向けて、まずはクラスの友達がどこに行きたいのかを知りたいという子どもたちの声をもとに、ゴールを設定しました。また、紹介の仕方としてワークシート(右)に書くことにしました。

### 3. JUMP の活動の様子

JUMP では、HOP で立てた「おすすめの場所とその理由を伝えよう。」というゴールを再度確認しました。子どもたち

に、誰に対して伝えたいかということも再度問うと、やはり子どもによって異なりました。全体で発表の対象を一つに絞ることもできましたが、1年間の中で最後の発表であること、直接発表する機会を持つことが難しいということもあり、「自分が一番伝えたい相手に向けて、おすすめの場所とその理由を録画して伝える。」というゴールを再設定しました。最終的には、動画にするということを踏まえて、どのような内容でどのように伝えるかをそれぞれ考えました。

ゴールが設定できた後は、発表の構想づくりです。教師用指導書付属のワークシート(右)にどんな内容を伝えるか日本語でメモした後に、ペアをつかって自分が使えるような言葉を使って伝え合いました。Lessonを通して使えるようになった言葉を用いて伝えている



る子もいますが、どんな表現を使えばいいか戸惑う子どもも当然ながらいました。そこで、次のペア活動に移る前に「言えなかったこと」や「言いたいこと」を全体で確認しました。その後は、新たなペアを作り、再度自分のおすすめの場所について伝え合いました。このように、言えなかったことやうまく言えたことを確認しつつ、「伝え合うこと」をベースにしながら発表に向けて準備をしていきました。最後には、動画にするということで撮影コーナーも用意し、自分の発表の様子を自分でも振り返れるようにしました。(下の①の図、②の写真参照)



①ペアの動かし方 ②録画した動画を自分で確認する

#### 4. 子どもたちの発表内容

##### 児童 A

伝える相手	4年生
工夫した点	4年生でも分かるような有名な場所や食べ物などについて、はっきりゆっくり話したり、写真やジェスチャーを多めに取り入れたりする。
児童の様子	相手が4年生ということで、I like という4年生でも親しみのある言葉を用いたり、相手に尋ねる言葉も用いたりしながら発表をしていた。
I want to go to Fukuoka. I like castles. I want to see "Kokura Castle".	

Kokura Castle is cool. Do you like castles?  
I like express (Shinkansen).  
I want to see Kyushu-express (Shinkansen).  
Do you like express (Shinkansen)?  
I want to go to "PayPay Dome". PayPay Dome is a baseball stadium. I like Fukuoka SoftBank HAWKS.

##### 児童 B

伝える相手	校長先生
工夫した点	内容を大人向けにしたいと考え、自分が行きたい場所の魅力について伝える。
児童の様子	校長先生に向けて自分とゆかりのある国について、写真を使ったりジェスチャーも取り入れたりしながら伝えていた。
I want to go to The Kingdom of Thailand. Thailand is beautiful country. Thailand is hot. This is pool. I want to swim. Do you like swimming? What's this? This is longan. Longan is Thailand fruit. It's so sweet and delicious.	

##### 児童 C

伝える相手	お家の人
工夫した点	「行ってみたい場所を紹介して、実際に連れて行ってほしい。」という思いを込めて伝える。
児童のようす	自分が行きたい場所を伝える順番を工夫しながら発表していた。
I want to go to "magic shop". Magic shop is K-pop item shop. Magic shop is in Shin-Okubo. Shin-Okubo is in Tokyo. Tokyo is beautiful. I want to go to Tokyo.	

#### まとめ

今回の実践では、Unitのはじめに立てたゴールへの意識を大切にしながら学習をしていくことを重視しました。そのため、各 Lesson のゴールを設定しました。そうすることで子どもたちの意欲を保ちつつ学習を進めていくことができたと思います。しかし、設定したゴールに関しては、より適切なものがあるのではないかと思います。子どもの意識を大切にしながら、各 Lesson でどのようなゴールを設定しつつ JUMP につなげていくかという Unit のまとまりを意識しながら、今後も指導を行っていきたいと思います。



##### 小林哲也(こばやし・てつや)

長野県公立小学校勤務。県内小学校での勤務、在外派遣教員としての経験を経て、現在は長野県須坂市内で4校の小学校の外国語専科。令和2、3年度の小学校英語教育学会にて「専科としての取り組みの成果と課題」について実践発表。

# Tips for Activities!

やってみよう  
英語活動

発表型活動の代表的なものに、ポスター発表があります。本稿では、絵を描くなどの英語学習以外の時間を短縮し、子どもが英語でのコミュニケーション活動に向かう時間をより確保できる事例を紹介します。

## ポスターを使って発表する活動を効率よく、効果的に

### 使用するもの

- タブレット端末
- アプリ「ロイロノート」
- 4線ワークシート

### 活動

日本のことに興味を持っている外国人講師（ALT）に、「日本の素敵な場所・もの・人物などをポスターを使って紹介する」タスク型（課題解決型）の活動を例に、発表活動を効率よく、効果的に展開する工夫をご紹介します。

#### ①ワークシートに言いたい文を書き写す。

思考力・判断力・表現力の育成の観点から、あえて4線だけ記したワークシートを児童に配付します。私は毎回書く活動の時に行っていましたが、「形」「高さ」「間（分かち書き）」に注意することを、児童と確認します。書く活動の時に児童に留意させたいことは色々あると思いますが、私はできるだけ、「単指示」「項目の焦点化」「シンプルな文言」を意識して言葉かけを行っていました。その後、言いたい文をワークシートに書き写すように指示します。

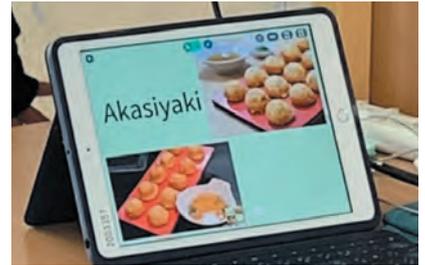
#### ②ポスターに載せる写真や文言を決める。

ワークシートへの記入が終わったら、タブレット端末を使います。また、この時間のために、あらかじめ必要な資料は持ってくるように伝えておきます。こうすることで、どの児童も資料をそろえやすくなり、調べ学習の時間を大幅に短縮できます。その上で、持ってきた資料の必要箇所を写真に撮ったり、コピーや複製が禁じられているものはコピー&ペーストしないように指導した上で、インターネット上で必要な情報を調べたりするように指示をします。なお、文をすでに書き写していて、書く活動の目的は達成しているので、ポスターに添えるのは、大事だと思う語句や表現を1つか2つぐらいでよいことを伝えます。

#### ③タブレット端末上にポスターを作る。

ロイロノートの「テキスト」（カードのような台紙）上に、資料を貼り付けたり、載せたい英語の語句・表現を入力した

りするように指示します。デジタルで資料を貼り付けることにより、絵を描いて色を塗る時間や紙を切る時間、その時に出るゴミ処理の時間などが大幅に短縮できます。また、語句・表現の入力は、下書きしてなぞり書きをするといった時間の短縮につながります。



実際の児童の作品

#### ④完成したポスターを「提出箱」に入れ、発表の練習をする。

完成したポスターをロイロノートの「提出箱」に入れて提出し、できた人から発表の練習をするように伝えます。「提出箱」を活用することで、画面上で即座に児童の作品のチェックをして、修正があれば返却し、再提出を求めることができます。デジタルですので、児童にとって簡単に修正ができて、時間もそれほどかかりません。また、紙ポスターで行っていた、都度回収、都度配付の手間も省くことができます。

### Classroom English

Paste your pictures  
in the 'Tekisuto' field.

「テキスト」上に写真を貼り付けましょう。

Send your posters  
to the 'Teishutsubako' box.

ポスターを「提出箱」へ送りましょう。



瀧本 哲弘 (たきもと・てつひろ)

鹿児島大学教育学部助教。兵庫県明石市立小学校教諭を経て、2022年度より現職。一教員目線で、児童にとって効果的で教員にとって持続可能な小学校英語の指導法の開発に取り組んでいる。

# 小学校外国語の評価は難しい？ ①

外国語では、学習指導要領の目標である学ぶ力の3つの柱を、どのように評価すればよいでしょうか。小学校での現場経験も豊富で、先生がたに寄り添い、一緒に考えていく姿勢を貫かれている大田亜紀先生に、今号から3回連続でそのヒントを紹介していただきます。

新学習指導要領の全面実施から本年度で3年目を迎えます。多くの小学校教員から新たに始まった外国語科の評価に関する悩みの声が続えず聞こえてきます。本コラムのタイトルに対する答えは圧倒的に「YES」だと思います。今回から3回連続で小学校外国語科の評価について、小学校教員の声に耳を傾けながら、その在り方について考えてみたいと思います。

## 「主体的に学習に取り組む態度」と「関心・意欲・態度」

さて、さっそくこのような声が聞こえてきます。



「主体的に学習に取り組む態度」の評価をどのようにしたらよいのか悩んでいます。

これまでの「関心・意欲・態度」の観点での評価と何が違うのでしょうか。



3観点のうち「主体的に学習に取り組む態度」は態度面での評価の観点であり、学習指導要領の示す3つの柱の一つである「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関わる目標を踏まえて評価をします。態度のうち、感性や思いやりなどについては、「観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒一人一人のよい点や可能性、進捗の状況については、『個人内評価』として実施する」とされています。つまり、「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価ができる面と、観点別評価にはなじまない面があるということです。

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会『児童生徒の学習評価の在り方について(報告)』(平成29年1月)では、本観点の評価について以下のように示されています。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言等を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る評価の趣旨に照らして、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である。 (下線筆者)

「主体的に学習に取り組む態度」と、これまで行ってきた「関心・意欲・態度」とは、趣旨に違いはありません。しかし、

長い間指摘されてきた従来の課題を改善すべく、改めて「主体的に学習に取り組む態度」として強調しています。

## 「主体的に学習に取り組む態度」はどう評価する？

具体的には、次の2つの側面から評価することが求められています。

- 粘り強い取組を行おうとする側面
- 自らの学習を調整しようとする側面

この2つの側面は、まさに言語活動に取り組んでいる過程で表れる姿です。

また、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(国立教育政策研究所)では、評価規準を作成する際のポイントとして次の点を挙げています。

- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況
- 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えている状況

とくに後者は、特定の領域・単元だけではなく年間を通して評価する、としています。

言語活動への取組が、自分がめざす目標に向かい意識的に行われているか、自己省察しながら改善・向上を目指そうとしているか、その過程を見ていくことが大切です。そのためには、何より授業づくりにおいて「言語活動」をどう取り入れるかはとても重要になってくるでしょう。豊かな言語活動の設定が欠かせないと言えます。



今、自分がしている評価方法は、果たして適切なのか不安です。でも…

でも、の続きはきっと「とは言え、精一杯やるしかない」でしょうか。本観点の評価に際し、先生方が、思い悩みながら試行錯誤の渦中にあることが推測されます。次回は評価の具体例を見ながら、この続きを考えていきます。



大田亜紀(おおた・あき)

別府大学短期大学部 初等教育科 准教授。福岡県公立小学校教諭、福岡県教育センター指導主事、公立小学校教頭を経て現職。

短い時間で、聞いて/覚えて/話せる!! 新しいコンセプトの英単語学習教材!!

「チャンツとチャンクで身につく」

音感 キッズクラウン  
 場面ですせる英単語 Part 1

下 薫 (マジカルキッズ英語研究所)・三省堂編修所 編



- 約800語の英単語を20のカテゴリで提示
- 英単語は『キッズクラウン英和辞典』をベースに選定
- 音声を単語/チャンクの2パターンでインプット

体験版  
お申込みはコチラ

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/otokan/>



ライセンス形式	対応OS	価格
学校内 ライセンス (期限なし・台数制限なし)	Windows 10/11	41,800円 (税込)
	iPadOS 14~	41,800円 (税込)
	ハイブリッド	55,000円 (税込)
学校内 年間ライセンス (購入月の翌年月末まで・台数制限なし)	Windows 10/11	11,000円 (税込)
	iPadOS 14~	11,000円 (税込)
	ハイブリッド	14,300円 (税込)
シングルライセンス (期限なし・1端末のみ)	Windows 10/11	4,950円 (税込)
	iPadOS 14~	4,950円 (税込)



学校内ライセンスなら、校内の教員用・児童用端末に何台でもインストールいただけます!

三省堂はGIGAスクール構想に全力で対応していきます!

AI がスピーキングを自動採点!! 英語の学びを総合的に支援!!

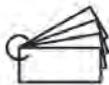
ELST® Elementary  
 小学校英語 総合対策アプリ

令和2~5年度

CROWN Jr. 5 6 準拠

おもな機能 ▶▶▶▶▶

単語



「正しい発音を聞く・真似て発音する・書く」のサイクルを通して、語彙を定着させる学習ができます。

会話



あいさつや質問への返答など、様々な場面に合わせた会話表現を学ぶことができます。

英検対策



画面に面接官が登場し、実際の面接形式に沿って、練習に取り組むことができます。

サービス提供: SINEWAVE 株式会社サインウェーブ <https://www.sinewave.co.jp/>

価格、サービスの詳細は下記の弊社連絡先、またはお近くの弊社担当者までお問い合わせください。

三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

2020年度版小学校英語教科書サイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>

三省堂

〒101-8371

東京都千代田区神田三崎町 2-22-14 TEL(03)3230-9411 (編集)・9412 (営業)

※2022年8月15日より、本社事務所を下記に移転いたします。

〒102-8371 東京都千代田区麴町 5-7-2 (代表電話番号は変更ございません)